

平成26年度

チャレンジド向け通信・放送役務提供・開発 推進助成成果発表

【聴覚障害者向けリアルタイム字幕配信役務の提供】

平成27年10月7日

特定非営利活動法人（認定NPO）CS障害者放送統一機構

助成対象事業の概要

- ◆「ニュースなどの情報生番組に対応するリアルタイム字幕をCS通信によって専用受信機を持つ全国の聴覚障害者に配信」することにより、緊急災害時の情報を補償する
- ◆役務を提供するためのリアルタイム字幕入力者を養成する

助成対象事業の実績

◆平成26年度、103回のリアルタイム字幕配信

（助成対象期間中に88回のリアルタイム字幕配信）

（東日本大震災時は、震災発生時よりただちにリアルタイム字幕配信を開始、オリジナル番組を含め、放送日数24日間、延べ放送時間21時間55分の緊急災害放送を実施）

◆平成26年度 4回のリアルタイム字幕制作者養成講座を開催（のべ40人参加）

【別紙①】

字幕付与の重要性

平成25年度 系列ローカル局も含めた地上民放テレビ局の字幕放送の実績(デジタル放送)総務省発表

	総放送時間に占める 字幕放送時間の割合	「視聴覚障害者向け放送普及行政の指針」の普及目標の対象となる放送番組における字幕番組の割合
NHK総合	72.3%	84.8%
在京準キー5局平均	52.3%	95.5%
在阪キー一局4局平均	47.5%	94.1%
全国の系列ローカル局 (101社)	38.1%	69.4%

目で聴くテレビの新たな挑戦

目で聴くテレビの字幕、手話の付与の実績を、ITU-T(国際電気通信連合)で発表。

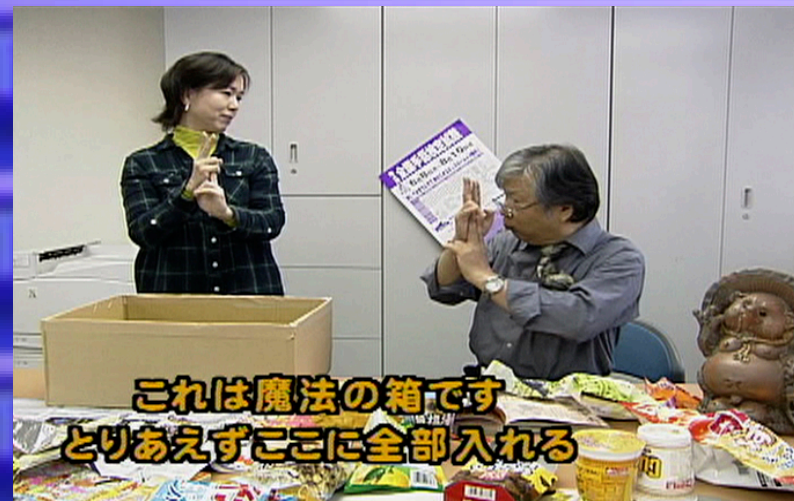
IPTVによる字幕・手話の付与がH.IPTV ACC prf として国際標準化の方向へ

衛星による災害時放送を想定した字幕・手話の付与に加えて、同時多チャンネルでの付与への可能性(地方局への字幕付与など)

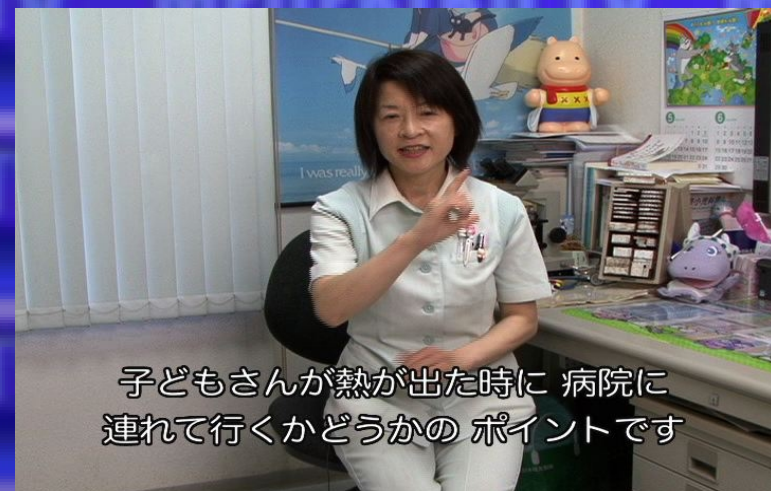
放送番組以外のコンテンツへの字幕付与の可能性

手話と字幕の番組「目で聴くテレビ」紹介

- 地震・豪雨・台風などの災害時に緊急配信
- 「アイ・ドラゴン」を設置している全国の個人宅、
- 避難所に聴覚障害者の災害情報保障としてニュース字幕と手話を配信



新しい手話を紹介
「目で聴く手話研究所」



生活に役立つ情報を
「健康レシピ」

■聴覚障害者向け手話と字幕の番組 「目で聴くテレビ」②

(2)「目で聴くテレビ」の活動

- 専用CS受信機「アイ・ドラゴン3」は身体障害者の日常生活用具として市町村の給付対象。
- 聴覚障害者が、手話キャスター・ディレクター・カメラマンとして、番組制作に参加。
- 全国44カ所・聴覚障害者情報提供施設からの番組協力のネットワークを構築。
- 受信料によって支えられる聴覚障害者のための放送局。

おわりに

本事業の将来性

- 字幕付与の必要性と多媒体による付与の有効性
- 放送事業者との連携による地方での字幕付与の可能性
- 様々な映像に対する字幕付与と有料サービスとしての特化